

# 田口金属 環境対策とリサイクル事業を強化

鉄スクラップ問屋において独自の非鉄選別技術などで知られる田口金属(本社=東京都新宿区中落合、田口武社長)は、環境対策とリサイクル事業の強化のため、茨城県古河市に有する丘里、古河第2、総和の3工場で設備の新設、増強を行った。総工費は約3億円。年内にはネオジム磁石のリサイクルシステムの本格稼働を計画している。また、鉄スクラップ部門の筑波工場では来期にかけて、大型スクラップシャーと事務所を新設する計画だ。同社の積極的な取り組みは今後も続いていく。

## 太陽光発電システムを導入

丘里工場には、環境への取り組みの一環としてスクラップディーラーの石井商事(埼玉県八潮市)と提携し、太陽光発電システムを導入した。発電出力は100キロワットで、年間9万7800キロワットの発電が見込まれる。発電した電力は工場内の使用電力の一部を賄えるほか、余剰分を電力会社へ買電することが出来る仕組みになっている。

## 古河第2工場 建屋と選別機を更新

非鉄選別を行っている古河第2工場では、工場建屋の増改築と、手選別ラインの新設および風力比重選別ラインのリニューアルを行った。工場建屋は屋根と側面を全て張替えて粉塵の飛散や騒音を防止するなど周辺環境への対策を強化した。また、新建屋は作



【丘里工場の太陽光発電パネル】奥は本社研修センター



黒モーターの解体(シェル切断機)

## ネオジム磁石のリサイクルに着手

同社は、既存事業の強化に加えて、新事業への取り組みにも着手している。現在、総和工場にて研究を進めているのが、使用済電化製品等に含まれる黒モーターからネオジム磁石をリサイクルするシステム

術は開発段階にあり、業界での実用化には至っていない。このため、同社では独自のシステム開発に着手。すでに総和工場の敷地面積を600坪からおよそ1100坪に拡張しており、今秋にも本格稼働させる計画だ。田口社長は「不況下にあっても、お客様へのお役立ちと地域社会との共存を忘れてはいけない」とした上で「事業を継続するには新事業への展開は必要不可欠だ。関連業界からの案件や提案をお待ちしている」と話す。



【古河第2工場建屋内】日中は自然光だけでも十分明るい



改良した風力比重選別ライン

### 古河工場



- ・シュレッド・ミックスメタル選別
  - ・廃家電品リサイクル(素材化)
  - ・非鉄金属(アルミ・銅・ステンレス)リサイクル
- 敷地: 9,000㎡/事務所: 308㎡/工場棟: 1,190㎡

### 古河第2工場



- ・非鉄金属ストックヤード
  - ・シュレッド・ミックスメタル選別
- 敷地: 6,965㎡/工場棟5,280㎡

### 丘里工場



- ・鉄、非鉄金属スクラップ(アルミ・銅・ステンレススクラップ等)の処理
  - ・鋳物用缶コロ、高炉用脱酸剤の製造
- 敷地: 18,883㎡/事務所: 269.79㎡/工場建屋: 972㎡/研修センター: 878.54㎡

### 筑波工場



- ・鉄、非鉄金属スクラップ(アルミ・銅・ステンレススクラップ等)の処理
  - ・家電リサイクルA・Bグループ指定引取場所
- 敷地: 11,200㎡/建屋: 1,217㎡

### 総和工場(家電リサイクル工場)



- ・コンプレッサーの解体処理
  - ・ネオジムの抽出
- 敷地: 3,518.05㎡/建屋: 700㎡



- 1 古河工場 〒306-0231 茨城県古河市小堤1951 TEL 0280-98-1177 FAX 0280-98-4684
- 2 古河第2工場 〒306-0206 茨城県古河市丘里14-1 TEL 0280-98-1177
- 3 丘里工場 〒306-0206 茨城県古河市丘里10-3 TEL 0280-98-1151 FAX 0280-98-1152
- 4 筑波工場 〒300-2746 茨城県常総市鴻野山1770 TEL 0297-43-7800 FAX 0297-43-7766
- 5 総和工場 〒306-0233 茨城県古河市西牛谷315 TEL 0280-98-1234 FAX 0280-98-1710

地域社会とともに

**JEN** 田口金属株式会社  
TAGUCHI METALS CORPORATION